

豊かな自然と伝統文化の郷 よねかわ

発行元: 米川地域振興会

発行日: 平成25年2月1日

第 22 号

米川新聞 2

蚕飼山山頂から見た米川

坂上田村麻呂が来た米川
蝦夷が住んでいた米川



坂上田村麻呂と東和

BS時代劇「火怨・北の英雄 アテルイ伝」に
登場する 坂上田村麻呂

当時この登米郡、ことに**東和**地区は山地で蝦夷の住みかであったのかも知れない。

光仁天皇の後を受けた桓武天皇は、天応元年(781)に即位した。僧侶たちの政治干渉を避けるために、宝暦13年(794)に都を奈良から平安京に遷都した。これと同時に蝦夷征伐にも多大の努力をはらった。しかしさらに続いて反乱が起こった。特に平泉の西の達谷の岩屋を根拠地としていた大嶽丸が中心となり、6人の家来を持ち多くの手下を従えて勢力を振り、朝廷の指示にも従わなかった。征夷軍は造柵・新田柵等で固め、本郡の中津山に置かれた中山柵、桃生柵、牡鹿柵と一線が引かれて強力な防御線ができていたが、**東和**はその外に位置していて、監視され注意の地域であった。後には深い北上山系が続き、追われれば山に潜み、帰れば出る。山でも里でも生活のできるといった変幻自在の蝦夷たちであったので官軍も手をやいたものであった。

坂上田村麻呂が征夷大將軍に命ぜられたのが、延暦16年(797)であった。東北に下った**田村麻呂**は、単に東夷征伐だけでなく、東北の開発に力を尽くした。諸国から9千人の人民を栗原郡伊治(これはる)城に移して農業や養蚕をなさしめたと伝えられている。帰順した蝦夷たちにも土地を与えて生活の道を授けたので、帰順する者も相当に多かったようである。しかし生活が安定して永くこの地に住みついている蝦夷にとって不満があり、その後も何度も反乱を起こしている。

延暦20年(801)**田村麻呂**は陸奥国に下り伊治城からさらに北上して胆沢(いさわ)城を築いて、多賀城から鎮守府を移した。この工事中に帰順するものも非常に多かった。東北の人民蝦夷たちからの信頼が厚かったのも、**坂上田村麻呂**にまつわる伝説が非常に多く、今に伝えられている伝説の地は何か所もある。華足寺と馬ノ足もそのひとつ。
(東和町史より抜粋)

おもてなしの心 あふれる笑顔
Hospitality **米川公民館** and Smile



K.M

Y.N

K.M

発行元
発行責任者
郵便番号
住所
Tel
Fax
E-mail

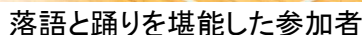
米川地域振興会(米川公民館内)
及川 浩
987-0901
登米市東和町米川字四十田25番地1
0220-53-4155
0220-23-9030
yonekawa.kou@chime.ocn.ne.jp

新春の舞い

地域の皆さまが一堂に会

し、寄席と舞踊を鑑賞し
ながら、一年の無事と健
康を願い、1月20日、新
春懇談会を米川公民館で
開催しました。47名が
参加しました。

今年で2回目となる新春懇談会には、昨年度から文化の日表彰の梶原みね子さん（8区・民生安定功労）と及川蕃氏（8区・消防防災功労）の2名をご招待し、会より多年の功績を讃え、記念品を贈り表彰致しました。

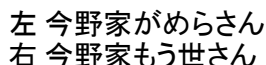


さんさ時雨を舞う菅原さん

落語と踊りを堪能
県内で活躍している東
方落語の噺家、今野家が
めら、今野家もう世の2
名の東北弁落語に大初笑
い。また地元日本舞踊家
3名による新春の舞いを
うつとりと堪能。出演者
にはたくさんの拍手が送
られました。

開会のあいさつで「安
全で安心できる地域づく
り、歴史的な特色を十分活
かした地域づくりを目指
してまいりますので、ご
支援、ご協力をお願いしま
す」と及川会長。

新春の舞いをご披露さ
れた菅原かおりさん、藤
原勝子さん、沼倉真紀子
さんありがとうございました。



正月生花教室開催

か 族 と の が
に と 生 開
し 共 花 催
て 月 教
、 迎 室
新 え 日
し ま
い 川
年 よ 公
を う 恒
家 一 例
豊

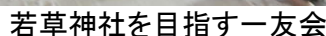
生花は創作

講師には小笠原流専門
認定一級家元教授畠山豊
春先生（11米川1区）を
お迎えし、挨拶では「生
花は創作、心で生けま
しょう」と心構えの言葉
で始まり、参加者は真剣
に取り組んでいました。



米川1区

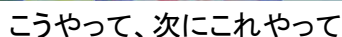
祭・小正月の行事「どんと
夜、はだか参り」が1月
14日、若草神社と市街
目指し、一年の無病息災
家内安全と商売繁盛を祈
願しました。



好評でした

地で行なわれました。この行事、米川一區の
一友會へ會長「桜戸正道の
氏」が中心となつて毎年
行つており、今年で28年
目。今年は米川一區を抛
点に活動しているボラン
ティア団体カリストスジヤ
パンの5名も参加。20cm
の積雪と氷点下の中、白
鉢巻にさらし、含み紙を
にくわえた男たちは、寒さ
に耐えながら若草神社を

と男性の家事参加の促進
地域交流を目的に、1
月25日、男の料理教室を
米川公民館で開催。地域
の男性13名が参加。米
川講師には、おなじみの
米川商店会「ふれあい」
猪股喜代美栄養士さんを
お招きし、カツカレー・
銀たらのオイル焼き・夕
ご飯とわかめの和え物に挑
戦。「今日教わった料理
を早速かあちゃんに作っ
てご馳走します」と参加



者の三浦さん。この教室は今後定期的に開催予定です。お楽しみに。

来様二館 まに住ど中おま持関災たと とち照 する年 と
 のに年の米すおいなで察ぬち係さ各い昨をたら新。よを皆う新
 目ごが指川。過のい震しこつ者れ地う年願輝し春 りお様ご年
 的利経定地 ご皆此災いとつのたにこはいく、の お迎にざあ
 に用過管域 し様ののたにも皆皆槌と震ま年明日 喜えはいけ
 沿いし理振 のに米影し心、様様音で災すでるが びの、ま
 った、を興 こは川響ま配なにをが、の。あく、申こ清すし
 ただ多受会 と、のがすのかもは響被復 り希蚕 しとら。て
 事きく諾も と、穩地ほ。こな希じき災興 ま望飼 上とか お
 業、のし公 存やにとそとか望め、さ元 すに山 げこな め
 を本皆て民 じかおんのと進を、被れ年 こ満を まこ新 で

米川地域振興会
 会長 及川 浩



年頭のご挨拶

「よく笑う」と、
 人生はもっと楽しくなる！

斎藤茂太

今年も
 いっぱい
 笑いましょう！



し念年と すよの よイ地立と 進力う用水こ 行
 ましとり結。りご昨うム域ちしまん発！開事と本っ
 す、なまび よ支年準りの上てたで電発始業で年て
 。年りしに い援に備！出げは、まと電、にすはお
 頭まで、 地と引中に来、ホ米い新や上よが、り
 のす希本 域ごきでお事公！川りた蚕沢る、ま
 ごこ望年 を協続す届を民ム地まな飼地下農だす
 挨とにも 目力き。け、館ぺ域す地山内水村計。
 拶を満皆 指を、で今活！振。域での道集画
 とごち様 し賜皆 き後動ジ興 へのソの落中
 致祈たに まり様 る夕やを会 と風！供排の

2月の予定

1	金	
2	土	
3	日	
4	月	古文書学習会、レダ [®] 教室
5	火	
6	水	泉趣会、加竹教室
7	木	
8	金	つるし飾り愛好会、絵手紙教室
9	土	米川小学校（復興支援：口福寄席）
10	日	
11	月	
12	火	ふれあいサソ（ユカール）、レダ [®] 教室
13	水	泉趣会
14	木	
15	金	絵手紙教室、あばせ30 ⁺ 教室
16	土	米川イッポポ [®] 大会
17	日	米川生産森林組合 通常総会
18	月	古文書学習会
19	火	レダ [®] 教室
20	水	泉趣会、加竹教室
21	木	

22	金	
23	土	
24	日	
25	月	
26	火	米川長生大学閉講式、レダ [®] 教室
27	水	泉趣会
28	木	

3月上旬の予定

1	金	あばせ30 ⁺ 教室
2	土	あばせGG教室
3	日	
4	月	古文書学習会、レダ [®] 教室
5	火	
6	水	泉趣会、加竹教室
7	木	
8	金	つるし飾り愛好会、絵手紙教室
9	土	あばせGG教室
10	日	

※公民館事業又は利用許可申請書提出済の団体のみ記載

米川の世帯数と人口

平成24年12月末現在

行政区	世帯数	男	女	計(人)
1区	179	168	189	357
2区	126	166	164	330
3区	116	178	185	363
4区	101	156	131	287
5区	80	122	128	250
6区	90	135	128	263
7区	73	110	115	225
8区	114	129	152	281
9区	72	78	114	192
10区	42	70	66	136
計	993	1,312	1,372	2,684

編集後記

この季節の注意事項3つ。

1. 火災
 油断すると大事な財産を失うだけでなく、精神的ダメージが重なります。火災は防げます。みんなで注意しましょう。
2. インフルエンザ
 いったん流行が始まると、短期間に多くの人へ感染が広がります。外出の際マスクをするなど予防に努めましょう。
3. 入浴
 冬に風呂場で心肺停止になる原因は、急激な温度変化による血圧の変動です。高齢者のいるご家庭では要注意です。熱過ぎるお風呂は避けたり、「湯加減はどう？」など声掛けも必要ですね。